

土木工学・建築学委員会気候変動と国土分科会小委員会の設置について

小委員会等名：佐賀低平地への適応策実装検討小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	土木工学・建築学委員会気候変動と国土分科会では、地球温暖化による災害外力の増大下の風水害・土砂災害への適応策の実装を対象として、法定により全国各地で設置が行われている大規模氾濫減災協議会等における課題に対する研究状況の把握と課題の抽出等について議論を行うこととしている。その際、具体的な適応策の地域への実装の現場の実情を踏まえることが極めて重要である。大部分が低平地で洪水や高潮による大きなリスクを抱える佐賀低平地域は、住民や自治体の防災意識も高く防災策も先行しているので、ここを対象地域としてこの地域に詳しい地元の大学の研究者、特に人文社会系の研究者や国・自治体の技術者、NPOの代表等を交えた小委員会を設置したい。同小委員会で実装上の課題に関する研究状況を把握し、課題を抽出して、分科会へ報告し、分科会からの提言等により他地域への展開を図るものである。
4	審議事項	地球温暖化適応策の実装上の課題に関する研究状況の把握及び課題の抽出等の審議に関すること
5	設置期間	平成30年2月22日～32年9月30日
6	備考	※事実上23期からの継続